

製品名: GPS2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11717**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	GPS2
別名	GPS2; G protein pathway suppressor 2; GPS-2
遺伝子 ID	2874.0
SwissProt ID	Q13227
免疫原	抗血清はヒト GPS2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

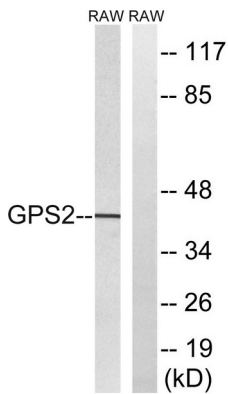
背景

この遺伝子は、G タンパク質-マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) シグナル伝達カスケードに関与するタンパク質をコードしています。哺乳類細胞で過剰発現させた場合、この遺伝子は RAS および MAPK を介したシグナルを強力に抑制し、JNK 活性

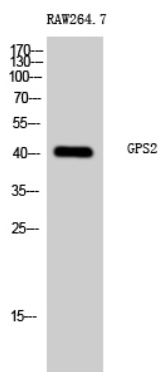
を阻害することから、この遺伝子の機能はシグナル抑制である可能性が示唆されています。コードされているタンパク質は、NCOR1-HDAC3 (核受容体コリプレッサー 1-ヒストン脱アセチル化酵素 3) 複合体の必須サブユニットであり、この複合体はこのサブユニットを介して JNK 活性化を阻害することが示されており、ホルモンを介した AP1 (活性化タンパク質 1) 機能の拮抗作用の代替メカニズムとなる可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:G タンパク質およびミトゲン活性化プロテインキナーゼを介したシグナル伝達を抑制する。 ,配列注意:フレームの選択が間違っている。 ,サブユニット:N-Cor リプレッサー複合体の構成要素で、少なくとも NCOR1、NCOR2、HDAC3、TBL1X、TBL1R、CORO2A、および GPS2 から構成される。 ,組織特異性:広く発現している。 ,

研究分野

画像データ



GPS2 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GPS2 ポリクローナル抗体を使用した RAW264.7 細胞のウェスタンブロット分析。